

## 地域おこし協力隊活動報告書

活動団体	アソビシロ
役職	
氏名	田尻泰崇
着任日	令和6年6月1日

活動月	令和7年5月（着任12ヶ月）
主な活動	1. オンラインテーマ別説明会 2. 協力隊交流会 3. 説明会からの発展

### 1. 協力隊交流会

5月16日、川辺の（株）いる葉の「つき」にて地域おこし協力隊、地域の方々、市役所職員の交流会が行われ、地域活性のためにどのようなことができるのかを意見交換しました。

南九州市の現地域おこし協力隊や卒業した元協力隊員も参加し、協力隊の支援体制や地域住民と市役所がどの様に連携をとっていくことで、安定的に街が豊かになっていくのかという議題で会が進みました。特に印象深かったのが、地域おこし協力隊の支援体制を整え、現隊員の安定化とサポート体制を充実することで増員を行い、将来的に住みやすい環境を整える制度を確立させようというものでした。協力隊自身が住みやすい環境を作り、発信がうまくいけば協力隊の募集と人口の増加に繋がるという一石二鳥のアイデアだと思います。尚、協力隊をもっと地域に浸透させるために名前を馴染みやすく分かりやすいワードに代えられないかという話もありました。実際に他の県でも地域おこし協力隊以外の名前で活動している例もあり、全国各地の地方で広まりつつあるのだと実感しました。この会に参加して20名ほどのメンバーが、夜遅くまで議論し、熱心に面白いことや楽しい生活を作ろうと考えていることにとっても心強く感じました。今後もメンバーとの関係を大切に日々の生活を豊かなものにできたらと思います。



## 2.オンラインテーマ別説明会

今月から地域みらい留学のオンライン説明会が始まりました。このオンライン説明会は2種類あり、テーマごとに説明を行う【テーマ別説明会】とテーマ関係なく参画校が大体的に集まって説明を行う【フェスインオンライン】という構成です。

【テーマ別説明会】は【川辺高校】が5月13日（火）に「地域との交流」というテーマで、【薩南工業高校】が5月27日（火）に「ここにしかない自然環境」のテーマで参加しました。

テーマに沿った説明用資料を用意し、各校の教頭先生に協力の元、説明を行いました。本番前の日程でテスト運用を行い、オンラインのシステム特性で用意していた動画が見えづらいという結果が出たので元々用意していた動画資料を画像を中心とした資料に全改訂を行い本番に臨みました。

資料を効果的に制作してもオンライン上では狙い通りの動きをしないため、かなり苦戦を強いられました。オンラインという状況に合わせて見やすく、効率的に魅力を存分に紹介できる方法で説明ができたと思います。そして5月31日に開催されたオンラインフェスでは川辺高校が参加しました。こちらはテーマが決まっているわけではなく、参画校がランダムにグループ分けされ、午前中に各校の説明をまとめて行うというものでした。結果として17名の中学生に聞いてもらい、今後の課題や他の高校の説明の良い部分などを吸収することができました。とても刺激のある時間となり、今回の説明会の反省を元に様々な動きを展開していきたいと思います。



### 3. 説明会からの発展

オンライン説明会を終えて、説明会だけでは実際に学生を呼べるのかという疑問が湧いてきました。まず、他の高校でここに留学してみたいという強いアピールポイントがある高校は地方に留学する意味をしっかりと掴んでいる印象がありました。例えば、スキーなどのアクティビティが充実している学校はそれらを授業に取り込んだり、地域の塾として運営しているそうです。その説明を聞いて、自分がそこでしか体験をすることができない貴重な時間を想像させて留学に価値を生み出していると思います。

学生を実際に留学させるためにはその見せ方を南九州市も行うべきだと思っています。まずは魅力自体を作ることが大事なので、地域との協力によって作るクラブ活動を計画し、プレゼンの中に組み込みました。こちらの資料は時間をゆっくり取れる対面用となります。なお、この魅力説明の後のサポートも重要だと思っています、説明会だけでは留学を決断することは難しいと思うので、しっかりとしたサポート体制や生活する上で安心感があることを説明会にない部分で提供できたらと考えています。8月に行われる体験入学に実際にきてもらって、快適で温かい場所に住むことができるということと地域住民とのミニ交流会を開催してどんな人たちがサポートしてくれるのかを体感してもらい、南九州市の強みの一つである「地域との繋がり」を伝えていけたらと思います。